

経済政策論 A

—経済政策論 A の概要—

山田知明

明治大学

2022 年度講義ガイダンス

経済政策論 A・B の範囲

- 経済政策論の範囲
 - 学問体系としての『経済政策論』の位置づけ
 - 応用マクロ経済学、応用ミクロ経済学、公共経済学、財政学、金融論、国際金融・国際貿易、産業組織論、政治経済学 etc.
- 経済政策論の目的
 - 望ましい政策 (=最適政策) とは何か?
 - パレート改善
 - 経済政策がいつ、だれにとって必要なのか?
 - 誰が便益を得て誰が損失を被るのか：一貫した理論が必要
- この講義のゴール
 - 現状把握 (統計・制度)
+
 - ミクロ・マクロ経済学に基づく理論的基礎

経済政策論 A・B の範囲 (続き)

- マクロ経済政策を中心に講義をする
 1. **経済政策論 A (短期)**：景気対策、財政・金融政策
 2. **経済政策論 B (長期)**：経済成長、社会保障制度、経済格差 etc
 - ミクロ経済政策の例 ⇒ 公共経済学、産業政策論
 - 必要な時に適宜、ミクロ経済政策にも言及予定
- この講義の特徴
 - 理論にウェイトを置く
 - (一応) 公務員試験の範囲にもなっている
 - ただし、公務員試験対策をするわけではない
 - 最先端の研究成果を可能な限り紹介する
 - 経済学は常に進化している

『経済政策論』の範囲 (続き)

- 理論的分析と実証的分析の両面からアプローチ
- **経済モデル**を理解する
 - モデルは現実の抽象化であり検証可能
 - 検証のためにはデータに関する理解が必要
- なぜ経済政策を学ぶ必要があるのか?
 1. 政策当局者にとっては実際的问题
 2. 我々の世界を理解するため
 3. 政策当局の意図及び間違いを理解するため

テキスト・参考文献

- マクロ経済学 (下2冊はかなり難)
 - 齊藤誠・岩本康志・太田聰一・柴田彰久『マクロ経済学』有斐閣
 - N・グレゴリー・マンキュー『マンキュー マクロ経済学Ⅰ 入門編』東洋経済新報社
 - 加藤涼『現代マクロ経済学講義』東洋経済新報社
 - 齊藤誠『新しいマクロ経済学 第2版』有斐閣
- 経済数学
 - 尾山大輔+安田洋祐『[改訂版] 経済学で出る数学』日本評論社

講義スライド

- スライドは Oh-o!Meiji から各自ダウンロード
 - オンラインの場合、講義動画アドレスも一緒に掲載

成績評価について：定期試験が可能な場合

- 以下、シラバスに書いてある内容
- 定期試験 (70%)
 - 人数に応じて期間内試験の可能性あり
- レポート (30%)
 - 講義でカバーできないトピックを自分で勉強してもらう

成績評価について：定期試験が不可能な場合

- 授業をオンデマンド方式で配信とするか、教室での講義にするかは履修者数及び学生の要望に応じて決定します
 - 履修予定者数を見る限り教室サイズは大丈夫なはず
 - リアルタイム配信はしない予定
- 不定期で出す課題とレポートで評価

数学的準備

- 出来ないことを大前提としています
- しかし、**理解しようとする努力は必要!**
- 数学を使うときには事前に説明します
 - グラフの読み方
 - 例：関数とは?

$$y = f(x)$$

- 若干の統計学に関する知識：平均、分散 etc.

経済政策論の目的

- 全ての人が幸せになる経済政策はあるのか?
 - 最適政策を追求することは大事
 - 見つかったら「実行あるのみ!」
 - 意見の対立は生じない(はず)
- 残念ながらそうではない問題が多々ある
 - 例：社会保障における世代間の負担

経済政策論の目的 (続き)

- 経済政策を考える上で重要な軸・視点
 1. 市場と政府：資源配分機能と安定化機能 (経済政策論 A)
 2. 短期と長期：景気循環と経済成長 (経済政策論 A & B)
 3. 効率性と公平性：所得再分配機能 (経済政策論 B)
 4. 現役世代と将来世代：異時点間の資源配分 (経済政策論 B)

マクロ経済の安定化

短期 (Short-run)

- 景気の状態を微調整 (ファインチューニング)
 - 例：アベノミクス第 1 の矢&第 2 の矢
 - いわゆる景気対策
- 財政政策
 - 財政支出拡大で景気を刺激・回復 (ケインズ政策)
 - 総需要管理政策
 - 累積債務と財政の維持可能性
 - 消費税増税 etc.

マクロ経済の安定化 (続き)

- **金融政策**

- インフレ・デフレをコントロールして物価を安定
- 具体的に何をしているのか?
 - 金利/マネーサプライをコントロール
- 金融システムの安定化・監視
 - BIS 規制

- **財政・金融政策に関する最近の議論**

1. 将来の予想・期待の役割
2. 有効性を巡る議論
3. 質的・量的緩和政策とゼロ金利 (マイナス金利)

経済成長・経済発展

注意：経済政策論 B の内容です

長期 (Long-run)

- 「何故、我々はこんなに豊かで、彼らはあのように貧しいのか (Why some are so rich and some so poor)?」
 1. 「体重を増やさないことに多額の金を費やす国」
 2. 「生きるために食べる国」
 3. 「次の食事がどこで手に入るかもわからない国」
 - D.S. ランデス (2000) 『強国論』 三笠書房

経済成長・経済発展 (続き)

- 経済成長のエンジン
 - 資本蓄積：貯蓄及び投資
 - 人的資本：教育
 - 生産性：技術革新
- 経済成長を高めるための政策
 - インフラ整備、教育、R&D 投資、特許 etc.
 - 民主主義、投票制度、財産権 etc.
- 社会保障制度
 - 少子高齢社会に対応した各種政策
公的年金、健康保険、介護保険 etc
 - 家族の経済学
- 短期と長期の両面から経済政策を考える

経済政策に関わる経済学者達

- 大統領経済諮問会議
 - N.G. Mankiw, L. Summers, etc.
- 中央銀行
 - B. Bernanke (Chair), J. Yellen (Chair), M. King (BOE), N. Kocherlakota (Fed), C. Plosser (Fed), etc.
- 世界銀行、IMF
 - J. Stiglitz, O.J. Blanchard, R. Rajan, etc.
- Twitter 等の SMS で “本物の” 経済学者がどんなことを考えているのかを読むのも勉強になる
 - 例えば、Taisuke Nakata さん、Fuhito Kojima さん